

令和6年度スクールプラン

坂井市立磯部小学校



教師の願い
児童の実態
保護者・地域の願い

《教育目標》 豊かな心, 考える力, 健やかな体を育む

めざす児童像

い(いたわり合う子)

そ(創造力豊かな子)

べ(ベストをつくす子)

重点目標

豊かなつながり ◎明るい挨拶の推進 ○ポジティブ教育、人権教育の充実 ○異学年交流の充実	学びを支える ◎ICTを活用した授業実践 ○基礎的・基本的な学習内容の定着 ○主体的な学びの場の確保 ○読書活動の推進	健やかな心身 ◎いじめ、不登校の未然防止 ○運動に親しむ習慣の育成 ○安全、健康教育の充実	地域と共にある学校づくり ◎情報モラル教育の推進 ○ふるさと教育の推進 ○開かれた学校、積極的な情報発信
---	---	--	---

具体的取組

◎明るい挨拶とは何かを各学級で考え、各学年の挨拶目標を設定し、学期ごとに振り返って改善する。 ○ポジティブ教育を毎月実施、人権教育を前後期に1回ずつ実施する。 ○前後期に複数回、縦割り活動などの異学年交流を行う。	◎ICT活用により学びやすい環境を整え、個に応じた指導や児童同士の学び合いを取り入れた授業を行う。 ○基礎的・基本的な内容の国語・算数の月末テストを計画的に実施する。 ○2ヶ月に1回、縦割りペア読書や図書のイベントを行う。	◎心のアンケートを前後期に1回ずつ行う。児童理解の場を月1回設ける。 ○カード(縄跳び・外遊び・体育の学習カード)や「はぴりゅうスポーツ広場」を活用し、運動習慣の定着を促す。 ○「ここ・からチェック」を実施する。また、安全意識を高める場を前後期に1回ずつ行う。	◎情報モラルに関する情報を発信し、家庭での取り組みや話し合いを促す。 ○人材バンクをつくり、地域の人々と連携した学習活動を行う。 ○おたよりやブログなどで、月2回以上情報発信を行う。
--	---	--	---

数値目標

◎挨拶目標を達成できたと答える児童が90% ○ポジティブ教育を毎月、人権教育を前後期に1回ずつ実施したという教職員が90% ○前後期に1回ずつ縦割り活動などの異学年交流を行ったという教職員が90%	◎ICTを活用することで、学習内容がわかるようになり、進んで学習に取り組んだ児童が90% ○国語や算数の基礎的・基本的な力が身についたと答える児童が90% ○読書タイムや時間を見つけて好きな本を読むことができたという児童が80%	◎学校に相談ができる人がいると答える児童が90% ○運動に親しむ習慣が身についたと答える児童が90% ○「早寝・早起き・朝ご飯」などの規則的な生活習慣が身につけていると答える児童が90% ○学校内外で安全に気を付けて生活していると答える児童が90%	◎親子で情報モラルについて話し合ったと答える保護者80% ○地域の人と連携した学習活動を行ったと答える教職員が90% ○おたよりやブログなどを通して、児童の学校での様子が分かるという保護者が90%
--	--	---	--

<業務改善のための取組>
 学校行事、会議等の精選および文書事務の効率化
 情報伝達や事務処理等の迅速化、省略化 ノー残業デーの推進